

復旧工事－柱－

中庭に立っている 9 本の柱は、旧本館庁舎の通関ロビーにおいて当時、吹き抜けの天井を支えていた支柱をそのままの形で保存し、柱列のモニュメントとして一部復元し、当時の面影を残している。



平 8.7 庁舎西側から解体が始まり、柱の姿が浮かび上がった。



平 8.8.27 1 階通関ロビーの撤去が完了し、保全する旧館部分が姿を現した。



平 8.8 柱の保全作業のため足場が組まれた。



旧館及び中庭の工事が進む中、噴水が形どられた。

復旧工事－定点撮影－

庁舎西側の分庁舎屋上から東の庁舎（手前から第2分館、第1分館、本館庁舎）の解体作業を記録したものです。



平 8.5.14



平 8.5.20



平 8.5.23



平 8.6.4



平 8.7.5



平 8.8.6



平 8.9.16



平 8.9.26



平 8.11.11



平 9.1.17



平 9.6.9



平 9.9.30

復旧工事一定点撮影一

旧本館庁舎東側屋上から新館の建設作業を記録したもの。



平 8.7



平 8.10



平 8.12



H9.1



平 9.6



平 9.9



平 9.11



平 10.5



平 10.9

復旧工事－懸垂幕－

神戸市内復旧工事が進む中、平7.2 神戸税関本館庁舎、ポートアイランド出張所及び六甲アイランド出張所において懸垂幕を掲げ、神戸市民にエールをおくっていた。平7.4 春の嵐に見舞われ一部破損したため文言について復興を背景にしたものに変更した。



平7.2.11 「示せ闘魂 めざせ復興」



平7.4.12 「港に船を 街に憩いを」



平 8.6.25 旧館 4 階事務室に備え付けられた木製棚を撤去した後から、幅 3.6m 高さ 1.8m の油絵による荒海を航海する帆船が描かれた壁画が現れ、報道関係者に公開した。進駐軍のアメリカ兵が描いたものではないかと推測されている。



平 8.8.14 台風 12 号の高潮により敷地が 50cm 冠水し、旧館地下に設置してあった機械類が海水に浸かるなど被害が発生した。